

# 政治は生活 マツリゴト

豊田市議会議員 西田ひさよ  
444-2816 豊田市杉本町後万場18-4  
✉hisa.nakama@gmail.com



## 9月定例会で一般質問 テーマは「子どもたちが安心して学べる教室」

豊田市のいわゆる不登校児童生徒は、1000人といわれています。本市では、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置増員、パルクとよたと各校に「はあとラウンジ」設置などの対策をしています。必要で重要なことと思います。一方で、そもそも「学校に行かないことを選択する」児童生徒を生み出し続けることを防ぐという切り口も必要と考えました。学校現場のこどものリアルな声として、私が直接聞いたことばの一部を紹介します。

- 「学校に行っていると、心が死んじゃう」
- 「相談しても信じてもらえない」
- 「みんなに言わないでほしいことを言われた（アウトティング）」
- 「学校に逃げ場は、なかった」
- 「教室に行くと先生の怒鳴り声がつらい」
- 「授業がわからなかったら、聞きにきてと言うけど、聞きに行くと怒られそう」
- 「聞ける隙がない」
- 「学校でのキャラ、決めつけられる」
- 「自分の心なんて、出せるわけがない」
- 「意見を言えば怒られる」
- 「先生に、言うことを聞かない子は嫌いだとされた」

教室が安心していられる場所と思えない子どもたちがいます。安心していられる場所となり、安心して学ぶことができるために、子どもたちに関わる大人が、子どもの権利を尊重するやり方を学ぶ必要があると考えます。

「教室マルトリートメント」といわれる「不適切な指導・かかわり」をなくすこと、そのためには教職員自身が「人権を尊重されている」と感じられる職場にする必要があることを話しました。



執行部側の答弁から、子どもの権利については、子ども若者政策課が取り組んでおり、周知が広がっている状況であることがわかりました。次の段階として「人権を尊重する」とはどうすることなのか、実践への取り組みを日常の中に落とし込んでいきたいですね。

教職員の人権尊重については、豊田市教職員多忙化解消プランを策定し、働き方改革を進めているとの答弁でした。子どもにとっても、教職員にとっても「安心して居られる学校」「安心して学べる教室」がすべての学校で、保障されることを願います。

初めての研修、視察へ



大津の全国市町村国際文化研修所の2泊3日研修に参加。ひとつは「1年目議員のために」研修。「議会ってなんだ？ 議員って何を？ 何が出来る？」を学びました。もうひとつは「社会保障・社会福祉」研修。国の政策に関わってきた学識者の方が講師としてお話を下さり「ビジョンはいいのに、現場で実現されてない！」と感ずることがあり、課題がいくつか見えてきました。他の自治体の議員の方々とも交流できたのも、とても学びになりました。

7/25(火)~27(木)は教育社会委員会として行政視察

- 高知市の子どもファンド
- 高知県のスポーツツーリズム
- 守口市の部活動地域移行

地域の実情にあったやり方を展開されていて、参考になりました。

その合間に、東京の実家に両親の介護のため、帰省。そしたら、8月初めに3日間ほど熱が出て、寝込みました。免疫力があがって、リニューアルひさちゃん誕生！？



その他の活動

8/8(火)足助の旧鈴木家住宅見学(国指定重要文化財)部分公開中。築240年余の歴史的空間を味わいつつ、当時の匠の技法、復元の技術研究も合わせて、楽しめます☆

8/13(日)「WHOLE CRISIS CATALOG@豊田編」崇化館交流館で開催。「焚き火みたいな対話」を試み、それぞれに気づきや学びの時間になりました。また、みんなで「対話」したいです。

8/18(金)三豊会議。豊橋市議員すがや竜さん、豊川市議員林まさ子さんとの新人議員といわ新選組衆議院公認候補者のつじ恵さんで、活動報告&意見交流です。渋谷区議員4期目の堀切ねんじんさんも来てくださって、1期目議員の私たちは、とても勉強になりました。

8/24(木)以降 9月定例会に向けて準備が始まりました。

西田ひさよといわ新選組の活動にご注目いただきどうもありがとうございます。お困りごとやご意見などございましたら、ぜひご連絡ください。

